



2025年度 総合子ども学研究所事業報告

現代子ども学公開講座

11月24日(月・祝)第26回現代子ども学公開講座「子育て・共育フォーラム～未来を育てる温かなつながり～」を開催しました。NPO法人コドモノミカタ代表理事の井桁容子先生による基調講演「子どもの育ちに寄り添う乳幼児保育の実践と展望」の後、地域の方々と共に保育をされている認定こども園千成幼稚園 園長 南光代先生、こども園と小学校の一貫校である学び舎ゆめの森 校長・園長 南郷市兵先生の実践を紹介していただきました。その後、パネルディスカッション、会場の参加者とのダイアログセッションも行いました。



「教員の研究発表会」「卒業生のしゃべり場」

10月18日(土)、敬愛フェスティバル時に最近の教員の教育・研究成果を展示した研究発表会を開催するとともに、卒業生が保育職としての課題等を教員と語る会「卒業生と語ろう」を実施しました。卒業生が抱える悩みなどを共有する場となりました。



「絵本の勉強会」「絵本専門士認定試験受験対策講座」

7月26日(土)、午前に保育現場で司書をされている伊藤明美先生を講師としてお迎えし、絵本の選書と絵本を用いた環境作りについてお話ししていただきました。午後からは本学非常勤講師の生田美秋先生による「絵本専門士認定資格取得のための受験対策講座」を開催いたしました。また、校友会の協力を得て2024年度に絵本専門士の試験に合格した「絵本専門士合格者お祝い贈呈式」も実施しました。2024年度は3名の卒業生が絵本専門士資格を取得しました。



千葉県連携事業「保育者になるには体験」

保育の仕事に関心をもつ系列校(千葉敬愛高等学校・敬愛学園高等学校)の生徒を対象に、千葉市公立保育所(轟保育所・千草台保育所)の協力のもと、保育現場での体験活動を実施しました。

学生と教員による「子育て支援ワークショップ」(全9回)

10月から12月にかけての水曜日、本学保育実習室において「子育て支援ワークショップ」を開催しました。9回のワークショップを実施し、延べ300名の子どもと養育者が参加してくださいました。



「高大連携教育」「高校への出前授業」

連携校への出前講座を実施いたしました。また、新たに船橋市立船橋高等学校との教育協定を締結しました。これにより、教育協定締結校は計19校となりました。

2026年度 総合子ども学研究所主催の事業予定 (2026年4月時点で決定しているもの)

- **絵本の勉強会 (保育者対象)**
2026年8月1日(土) 午前
講師：山辺 笑子先生 (まどか保育園保育士)
- **絵本専門士認定試験受験対策講座 (卒業生対象)**
2026年8月1日(土) 午後
講師：生田 美秋先生
- **本学教員研究発表会・卒業生のしゃべり場**
2026年10月17日(土)～18日(日)
敬愛フェスティバル両日
- **現代子ども学公開講座**
2026年11月23日(月・祝) 午後
講師：柴田 愛子先生 (りんごの木こどもクラブ代表)
大豆生田 啓友先生 (玉川大学 教授)
- **子育て支援ワークショップ**
2026年10月～12月 水曜日 11:00～12:00
- **高大連携教育**
- **保育者になるには体験**
*各事業の詳細、申し込み方法は本学HPに掲載します。
*子育て支援ワークショップ、教員の研究発表、卒業生のしゃべり場は申し込み不要

総合子ども学研究所 ニュースレター Vol.14



学長メッセージ

2026年度の短期大学 ～学園創立100周年を迎えて～

敬愛大学・短期大学
学長 中山 幸夫

敬愛短期大学の母体である千葉敬愛学園は本年2026年に創立100周年を迎えます。皆様方のご理解と温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

学園創立100周年の記念事業として整備された稲毛キャンパス新教育棟に短大が移転してから2年が経過し、大学と短大の協力体制が一層強化されました。その一例として、今年度、短大から2名の卒業生が大学の教育学部に編入学し、他方で短大は大学教育学部から、幼稚園教諭免許取得のための科目履修生を受け入れることになりました。また大学生と短大生の連携・協働によって運営される敬愛フェスティバルには、2025年度は延べ4,000名近い来場者をお迎えしました。敬愛フェスティバルをきっかけに本学を知り、「子育て支援ワークショップ」に参加して下さった方々もいます。これからも地域とともに歩む学園として教職員一同、より一層の努力を重ねてまいります。

さて、総合子ども学研究所は、「子どもを様々な視点から、学問的・実践的見地に基づいて研究し、本学の教育の充実発展を図ると共に、地域の教育・保育に寄与することを目的」として活動しています。2025年度は、「子育て支援を考える」を研究テーマに各種事業を実施し、実践研究に取り組みました。昨年度の実績につきましては、本ニュースレターおよび本学HPの総合子ども学研究所から年報をご覧ください(中ページにQRコードを掲載しています)。

「こども誰でも通園制度」が本格的にスタートする2026年度も、引き続き「子育て支援を考える」を研究テーマとして実践と研究に取り組む予定です。事業としては、絵本の勉強会(8月1日)、敬愛フェスティバルに行う教員の研究発表と卒業生のしゃべり場(10月17、18日)、「現代子ども学公開講座」(11月23日(月・祝))、「子育て支援ワークショップ」(10月～12月の水曜日)、加えて、保育の魅力を高校生に伝える高大連携事業、千葉市との連携事業のひとつである高校生対象の「保育者になるには体験」と多くの事業を計画しています。今年で27回目を迎える「現代子ども学公開講座」は、学園創立100周年の特別企画として、保育界の第一人者であられる柴田愛子先生(りんごの木こどもクラブ代表)、大豆生田啓友先生(玉川大学 教授)を講師としてお迎えする予定です。

地域に根ざした保育者養成を行う短期大学の研究所として、今後も皆様のお役に立てるよう努めてまいります。皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



子育て支援ワークショップ

敬天愛人

本学は「敬天愛人」を建学の精神として掲げる全国でただひとつの学園。教育者にふさわしい人間性の陶冶を目指しています。





2026年度 敬愛短期大学の講座案内



副学長 吉村真理子 (教授)
発達心理学 / 教育相談

保育者には、子どもたちが自分の思いに気づき伝え合う体験を見守り支えていくことや、保護者の子育てを応援する役割も求められています。保育に興味を持っていただいた皆さんと、体験型の学び合いをしたいと思います。



このような講座を実施します

- ◆ 出合いのエクササイズ
- ◆ 絵本のなぞとき
- ◆ どのような子育てについて
- ◆ 人の話の聴き方
- ◆ 子どもの育ちと絵本について



大野 雄子 (教授)
学校教育臨床

創造力を豊かにするには、五感を通じた経験や想像力、フロー体験を大切にすること。まずは皆さんから心を耕してみましょう。



このような講座を実施します

- ◆ 手袋人形の制作とあそび
- ◆ 子育て相談
- ◆ 乳幼児の発達心理について
- ◆ ファンタジーとユング心理学
- ◆ 五感と創造性について
- ◆ MBTI® グループ体験検査代有料



神永 直美 (特任教授)
幼児教育学

幼児期の教育の基本となる環境を通して行う教育、子ども中心の保育について、様々な事例や動画をもとに考えていきます。



このような講座を実施します

- ◆ 幼児教育について
- ◆ 園内研修
- ◆ 保育者研修
- ◆ 子育て支援について



池田 純子 (准教授)
乳児保育 / 乳幼児の表現

現場での保育経験をもとに、大人も子どもも楽しいと思える保育を考えています。一緒に学べる講座にしていきたいと思います。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者について
- ◆ 子どもと造形表現について
- ◆ 乳児保育について
- ◆ 子育て支援について
- ◆ 保育者研修

出前講座の活用依頼方法

教育・保育の人材を養成する短大として地域と共に歩んできた敬愛短期大学では、これまで地域の文化活動、子育て支援、学校教育支援の一環として、出前講座、研修会への講師派遣を行ってきました。近年は高等学校の「探究学習」への支援などの依頼も増えており、心理学、幼児教育、保育の分野はもとより、保育者、教職員に対する研修会などのご要望にお応えできる分野が多くあります。講師派遣依頼の参考として活用していただきたく、本学の専任教員を紹介いたします。

詳しい内容や日程に関して、下記担当までお気軽にご相談ください。または、QRコードより出前講座・講師派遣依頼書をダウンロードして担当宛にお送りください。



問い合わせ先:

敬愛大学・敬愛短期大学 地域連携センター
担当: 藤森 孝幸
TEL: 043-251-6363
FAX: 043-251-6407
メール: kodomogaku@u-keiai.ac.jp

本学教員の研究成果

毎年、総合子ども学研究所事業、および教員の研究成果を「総合子ども学研究所 年報」にて発表しています。



<https://www.chibakeiai.ac.jp/education/kodomogaku/>



新田 司 (教授)
教育学 / 児童虐待

教育とは何か、家族とは何か、一緒に考えていきたいと思っています。



このような講座を実施します

- ◆ 教育保育全般
- ◆ 家族のあり方
- ◆ 児童虐待について
- ◆ 自己理解について



久保木 健夫 (准教授)
美術教育 / 絵本 / 絵画 (油画)

幼児教育・保育に基づく造形表現と絵本などの環境について考えます。



このような講座を実施します

- ◆ 幼児教育と造形表現
- ◆ 絵本と造形表現



酒井 基宏 (准教授)
保育学 / 児童文化

約20年の保育経験とパネルシアター作家の経験から、保育者の専門性を一緒に高めてまいりましょう。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者について
- ◆ 子どもと造形表現について
- ◆ パネルシアター (児童文化)
- ◆ 子育て支援について



清水 一巳 (教授)
体育学 / スポーツ社会学

からだ一つで楽しめる遊びや身体が広がる体験について考えていきます。



このような講座を実施します

- ◆ 運動あそび
- ◆ パラスポーツ
- ◆ 自然あそび
- ◆ レクリエーションスポーツ



阿部 孝志 (准教授)
社会福祉論 / 社会学

社会福祉を必要とする児童などについて、様々な観点から考えられる支援をお伝えします。



このような講座を実施します

- ◆ 社会福祉について
- ◆ 現代社会と児童福祉について



小熊 真弓 (特任講師)
保育学

幼稚園、保育所、こども園での保育経験をもち、子どもの主体性を大切にしたい保育についてお話しします。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者について
- ◆ 子どもと造形表現について
- ◆ 園内研修
- ◆ 子育て支援について



齋藤 めぐみ (教授)
保育 / 人間科学

元幼稚園教諭の経験を生かした保育、保育者についてや、絵本、子どもの健康づくりについてお話ししたいと思います。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者について
- ◆ 遊びの大切さについて
- ◆ 絵本について
- ◆ 子どもの生活習慣について



藤川 志つ子 (准教授)
臨床心理学 / 特別支援教育 / 乳幼児発達心理学

公立保育園での経験と心理士としての経験を活かして実践的な講座を行います。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者について
- ◆ 子育て支援について
- ◆ 特別支援教育、インクルーシブ保育
- ◆ 園内研修
- ◆ 乳幼児の環境について



二見 美千代 (特任講師)
音楽表現 / 幼児教育 / 音楽教育学

音楽を表現する楽しさや、音楽を通して子どもとの関わり方について、実践を交えながらお伝えします。



このような講座を実施します

- ◆ リトミック
- ◆ 音楽遊び
- ◆ 弾き歌い

本研究所は、「子ども」を様々な視点から、学問的・実践的見地に基づいて研究し、本学の教育の充実発展を図ると共に、地域の教育・保育に寄与することを目的として設置されました。

※イメージ写真は、本学の保育実習室にある玩具です。

